

技術協力成果品／
技術協力成果資料

5. GF 利用記録

コミュニケーション土地事務所（GF）利用記録

対象3 コミュニンの住民によるコミュニケーション土地事務所（Guichet Foncier: GF）の利用記録（本プロジェクトの開始時から2012年11月30日までの間）は、次のとおり。

1. ムララノクロム GF

ムララノクロム GF は本プロジェクトの開始時には設立されておらず、本プロジェクトによりその設立が支援されている。本プロジェクトでは、現在、GF 職員の能力強化と運営モニタリングに関する業務を、1年間、共同土地登記コンサルタント（CFA）に再委託して実施している。

GF の職員は、2013年2月までの予定で研修を受けており、現在はGF業務には携わっていない。しかし、住民のGFに対する関心が高いことを踏まえ、CFA とコミュニケーションとの間で協定を結び、CFA がGF業務を代行している。

2012年12月12日現在で、ムララノクロム GF には有効申請が14件提出されており、うち2件分の土地権利証明書の発行準備が整っている。ただし、申請者が同証明書を受け取りに来ていないため、土地権利証明書の発行実績はゼロである。

2. アンドレバケリースッド GF

アンドレバケリースッド・コミュニケーションでは、フランス開発庁（AFD）が支援するアロチャ湖流域保全事業（BV-LAC）の支援により2007年にGFが設立された。アンドレバケリースッド GF における土地権利証明書の発行実績は、表1のとおりである。

表1 アンドレバケリースッド GF の土地権利証明書の発行実績

	2012年度実績
総面積 (ha)	81.39
水田 (ha)	56.44
丘陵地 (ha)	24.14
村落 (ha)	0.81
申請件数	20

(注) 2012年11月30日現在の数値

(出典) アンドレバケリースッド GF からの聞き取り

3. アンバシケリー GF

アンバシケリー・コミュニケーションでは、BV-LAC の支援により GF が設立されたが、支援の途中で機能不全に陥り、再建されないままの状態が本プロジェクトの開始時まで続いていた。

本プロジェクトでは、2012年11月末に同GFの再建方針につき関係者間でワークショップを開いた。その結果、同コミュニケーションがGF業務をCFAに委託する方式で、GFの再建を図ることが合意された。このように、アンバシケリーGFについては再建の準備が緒に就いたところであり、GFの運営が本格化するのには2013年第1四半期以降の見込みである。このため、2012年度の実績はゼロである。